

令和5年度

富山市ガラス美術館
協議会

資 料

令和5年7月

令和5年度 富山市ガラス美術館協議会

資料目次

資料1 富山市ガラス美術館協議会概要等

資料1-1	富山市ガラス美術館協議会の概要について……………	P 2
資料1-2	富山市「ガラスの街づくり」の主な取組みについて……………	P 4
資料1-3	富山市ガラス美術館企画展について……………	P 7
資料1-4	富山市ガラス美術館基本方針……………	P 10

資料2 令和4年度富山市ガラス美術館事業実績等……………議事(1)

資料2-1	令和4年度富山市ガラス美術館の当初予算額及び決算額について……………	P 12
資料2-2	令和4年度富山市ガラス美術館の主要事業について……………	P 13
資料2-3	令和4年度TOYAMAキラリ入館者数及び富山市ガラス美術館 観覧者数について……………	P 33
資料2-4	令和4年度富山市ガラス美術館5階ギャラリー使用実績について…	P 36
資料2-5	令和4年度公益施設内関連イベント実施状況について……………	P 37
資料2-6	来館者アンケート集計結果……………	P 39
資料2-7	2階カフェの公募について……………	P 44

資料3 令和5年度富山市ガラス美術館事業計画等……………議事(2)

資料3-1	令和5年度富山市ガラス美術館事業一覧について……………	P 46
資料3-2	令和5年度富山市ガラス美術館展覧会開催スケジュールについて…	P 47

参考資料

参考資料-1	ミュージアムショップ(2階)のオリジナル商品について……………	P 50
参考資料-2	カフェ(2階)メニューについて……………	P 53

富山市ガラス美術館協議会 概要等

富山市ガラス美術館協議会の概要について

1 関係法令及び条例、規則※

- ・ 博物館法（昭和 26 年 12 月 1 日法律第 285 号）第 23 条～第 25 条
 - ・ 富山市ガラス美術館条例（平成 26 年富山市条例第 58 号）第 12 条
 - ・ 富山市ガラス美術館条例施行規則（平成 26 年富山市教育委員会規則第 3 号）第 10 条、第 11 条
- ※条文は、次頁。

2 目的

富山市ガラス美術館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べるための機関。

3 任命

協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に寄与する活動を行う者、本市の美術の振興に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命する。

4 定数

定数 10 人以内

5 任期

任期 2 年

6 委員名簿（任期 令和 4 年 3 月 22 日～令和 6 年 3 月 21 日）（五十音順）

	氏 名	推薦団体等	役職名
1	秋元 雄史(会長)	学識経験者（現代美術）	金沢 21 世紀美術館特任館長
2	石崎 由則	本市の美術の振興に資する活動を行う者	株式会社アイザック 代表取締役会長兼 CEO
3	石田 敬真	本市の美術の振興に資する活動を行う者	富山市美術作家連合会長
4	大久保 秀俊	学校教育関係	富山市中学校長会長
5	國香 真紀子	学校教育関係	富山市小学校長会長
6	島 敦彦(副会長)	学識経験者（現代美術）	国立国際美術館館長
7	滝 みゆき	公募委員	
8	外館 和子	学識経験者（工芸史）	多摩美術大学教授
9	宮廻 正明	学識経験者（保存修復学）	東京藝術大学名誉教授

◎博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）

（博物館協議会）

第 23 条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第 24 条 博物館協議会の委員は、地方公共団体の設置する博物館にあつては当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会（地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第二十三条第一項の条例の定めるところにより地方公共団体の長が当該博物館の設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされている場合にあつては、当該地方公共団体の長）が、地方独立行政法人の設置する博物館にあつては当該地方独立行政法人の理事長がそれぞれ任命する。

第 25 条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、地方公共団体の設置する博物館にあつては当該博物館を設置する地方公共団体の条例で、地方独立行政法人の設置する博物館にあつては当該地方独立行政法人の規程でそれぞれ定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

◎富山市ガラス美術館条例（平成 26 年富山市条例第 58 号）

（協議会）

第 12 条 博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）第 23 条の規定に基づき、富山市ガラス美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に寄与する活動を行う者、本市の美術の振興に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、委員会が任命する。

3 協議会の委員の定数は、10 人以内とする。

4 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

◎富山市ガラス美術館条例施行規則（平成 26 年富山市教育委員会規則第 3 号）

（協議会）

第 10 条 条例第 12 条第 1 項に規定する富山市ガラス美術館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（協議会の会議）

第 11 条 協議会は、会長が招集し、その会議の議長となる。

2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

富山市「ガラスの街づくり」の主な取組みについて

(1) ガラス美術館開館まで

年月	事項
昭和 56 年 12 月	富山市高等教育機関研究委員会から、富山市における高等教育機関の整備について答申があり、高等教育機関として専門学校設置の提言を受ける
昭和 58 年度	答申の趣旨を踏まえ、富山市として「新しい時代の高等教育を求めて」を策定 (1) 国際教養学科 英語コース ⇒ 外国語専門学校 (2) 家庭生産学科 ガラス工芸コース ⇒ ガラス造形研究所
昭和 60 年 4 月	富山市民大学ガラス工芸コース開設
昭和 63 年 3 月	富山中央部丘の夢構想調査報告書に呉羽丘陵を中心に新たなリクレーション空間を創出する案のひとつとして、初めて「ガラスの里」のイメージが語られる
昭和 63 年 9 月	富山ガラス工芸教育機関設置委員会を開催
平成 2 年 7 月	富山ガラス造形研究所校舎着工
平成 3 年 4 月	富山ガラス造形研究所が開校
平成 3 年 6 月	富山ガラス造形研究所開校記念式（本館完成 1,734.40m ² ）
平成 5 年 5 月	富山ガラス造形研究所研究科棟完成（568.86m ² ）
平成 6 年 4 月	富山ガラス工房が開設
平成 8 年 10 月	[ガラスの街づくり事業]スタート、ミニケースギャラリー設置
平成 8 年 11 月	富山ガラス個人工房建設着工（平成 9 年 4 月開設）
平成 9 年 7 月	「ガラスの里」基本構想策定委員会を設置
平成 10 年 3 月	「ガラスの里」基本構想策定委員会から「ガラスの里」基本構想の策定報告を受ける
平成 10 年 4 月	富山ガラス造形研究所の研究科を 1 年制から 2 年制とする
平成 10 年 9 月	「ガラス美術館」の基本方針や性格を審議するため、「ガラス美術館」基本構想策定委員会を設置
平成 10 年 12 月	「ガラス美術館」の収蔵品の選定・評価のため「ガラス美術館」収蔵作品選定委員会を設置

平成 11 年 8 月	富山国際会議場のオープンに併せ、1 階にガラス工芸品を販売するアートサロンを設置、同階の交流ギャラリーの一角に市所蔵のガラス作品を展示
平成 12 年 3 月	富山ガラス造形研究所増築工事 (特別制作室、作品収蔵庫/421.48m ²)
平成 13 年 3 月	「ガラス美術館」基本構想策定委員会が基本構想をまとめる
平成 14 年 3 月	富山ガラス工房拡充整備計画を策定
平成 14 年 8 月	「第 1 回現代ガラス大賞展・富山 2002」を富山市民プラザで開催
平成 14 年 11 月	富山ガラス造形研究所顧問である藤田喬平氏が文化勲章を受章。これを記念して、「藤田喬平のガラス芸術」展を富山国際会議場で開催
平成 14 年 11 月	ガラス美術館建設延期に伴い、街全体を美術館に見立てた新たな展開方針を検討。中心市街地を含めたストリートエリアへの作品展示に着手
平成 16 年 8 月	「ガラスの街とやま」シンボルマークを正式発表
平成 16 年 10 月	レンタル機能を新たに盛り込んだ富山ガラス工房の増築棟完成
平成 17 年 3 月	富山市民プラザ 2 階に市所蔵のガラス作品を展示するガラスアートギャラリーを開設
平成 17 年 3 月	ガラス美術館・ストリートエリア構想事業の一環として、屋外型ショーケースを大手モールに設置
平成 17 年 8 月	「第 2 回現代ガラス大賞展・富山 2005」、愛知万博関連事業「光と空間の捕捉ーチェコ現代ガラス展」を富山市民プラザで同時開催
平成 19 年 9 月	「TOYAMA GLASS×ONE 2007」展を富山市民プラザで開催
平成 20 年 2 月	有識者による「(仮称)ガラス美術館」懇談会を開催(計 2 回)。ガラス美術館の建設地について、中心市街地での整備が望ましいという提言を受ける
平成 20 年 3 月	森富山市長が 3 月議会でガラス美術館を中心市街地で整備する意向を表明
平成 20 年 4 月	それまで複数の部局で実施していたガラス事業を富山市企画管理部に一元化

平成 20 年 8 月	「第 3 回 現代ガラス大賞展・富山 2008」を富山市民プラザで開催
平成 21 年 3 月	今後のガラスの里の整備方針やガラス美術館の方向性を盛り込んだ「富山市ガラスの街づくりプラン」を策定
平成 21 年 4 月	富山ガラス造形研究所が県教育委員会から専門学校の認可を受ける
平成 22 年 1 月	森富山市長が旧大和跡地でのガラス美術館を整備する計画を表明
平成 22 年 3 月	「ガラスの里」宿舎棟及びアーティスト・イン・レジデンスを富山市西金屋地内に設置（同年 4 月より供用開始）
平成 22 年 11 月	「西町南地区の公益施設整備に関する基本構想」を策定し、ガラス美術館の役割や整備に向けての基本方針を打ち出す
平成 23 年 4 月	「ガラスの里」宿舎棟を増築、供用開始
平成 23 年 8 月	「第 4 回 現代ガラス大賞展・富山 2011」を富山市民プラザで開催
平成 24 年 1 月	「ガラスの里」にかわる新名称を公募により「グラス・アート・ヒルズ富山」に決定
平成 24 年 9 月	「グラス・アート・ヒルズ富山」において、市民や観光客のガラス制作体験に特化した富山ガラス工房第 2 工房を開設
平成 25 年 1 月	ガラス美術館設置準備室設置
平成 25 年 5 月	富山市西町南地区第一種市街地再開発事業起工
平成 26 年 8 月	再開発ビルの愛称が「TOYAMA キラリ」に決定
平成 27 年 4 月	富山市行政組織規則（平成 17 年規則第 3 号）に基づき「ガラス美術館」設置
平成 27 年 5 月	富山市西町南地区第一種市街地再開発事業竣工
平成 27 年 6 月	グラス・アート・ガーデン作品の一部をチーフリ・スタジオとガラス造形研究所・ガラス工房のスタッフとが共同制作
平成 27 年 8 月	富山市ガラス美術館開館

(2) 富山市ガラス美術館企画展について

	会期	展覧会名
平成27年度	平成27年8月22日(土) ～平成27年11月8日(日) (開場68日)	アイ・ガット・グラス! アイ・ガット・ライフ! 情熱の現代ガラス芸術 【観覧者数: 41,442人】
	平成27年11月21日(土) ～平成28年1月31日(日) (開場57日)	藤田喬平の芸術ー『現代』としての 伝統 【観覧者数: 10,370人】
	平成27年11月21日(土) ～平成28年3月21日(月・祝) (開場100日)	ハワード・ベン・トレ: Casting of Beingー存在の痕跡 【観覧者数: 18,630人】
平成28年度	平成28年4月16日(土) ～平成28年7月3日(日) (開場74日)	feeling in glass ー感じとるかたちー 【観覧者数: 17,836人】
	平成28年7月16日(土) ～平成28年9月25日(日) (開場67日)	イワタルリ BODY×硝子 【観覧者数: 20,108人】
		ベンジャミン・イードルス&キャシー・エリオット: Light Marksー光を辿(たど)る 【観覧者数: 20,206人】
	平成28年10月15日(土) ～平成29年2月5日(日) (開場100日)	スタニスラフ・リベンスキー ヤロスラヴァ・ブリフトヴァ 【観覧者数: 14,355人】
平成29年2月18日(土) ～平成29年3月26日(日) (開場35日)	『うごき』と『へんか』の視点・富山市ガラスコレクション展 【観覧者数: 8,958人】	
平成29年度	平成29年4月15日(土) ～平成29年7月9日(日) (開場80日)	雲母Kira 平山郁夫とシルクロードのガラス展 【観覧者数: 20,864人】
	平成29年7月22日(土) ～平成29年11月5日(日) (開場100日)	アン・ヴォルフ アンダンテ 【観覧者数: 25,693人】
	平成29年7月22日(土) ～平成29年11月5日(日) (開場100日)	家住利男 削りの形 【観覧者数: 25,803人】
	平成29年11月23日(木・祝) ～平成30年2月4日(日) (開場64日)	とめどないエネルギー: ガラスをめぐる探究と表現 【観覧者数: 9,613人】

平成 29 年度	平成 30 年 2 月 17 日 (土) ～平成 30 年 3 月 25 日 (日) (開場 34 日)	北陸のガラス作家たち：多様化するガラス造形 【観覧者数：8,259 人】
平成 30 年度	平成 30 年 4 月 7 日 (土) ～平成 30 年 6 月 17 日 (日) (開場 69 日)	ダブルリフレクション：世界を見つめなおす瞬間 (とき) 【観覧者数：17,317 人】
	平成 30 年 4 月 28 日 (土) ～平成 30 年 9 月 3 日 (月) (開場 121 日)	扇田克也-光のカタチ 【観覧者数：37,360 人】
	平成 30 年 7 月 7 日 (土) ～平成 30 年 9 月 3 日 (月) (開場 56 日)	アレナ・マチェイカ 神秘的な世界への旅 【観覧者数：19,539 人】
	平成 30 年 9 月 15 日 (土) ～平成 30 年 11 月 25 日 (日) (開場 68 日)	富山ガラス大賞展 2018 【観覧者数：20,598 人】
	平成 30 年 12 月 8 日 (土) ～平成 31 年 2 月 24 日 (日) (開場 76 日)	ジブリの大博覧会～ナウシカからマーニーまで～ 【観覧者数：225,435 人】
令和 元 年度	平成 31 年 4 月 27 日 (土) ～令和元年 9 月 23 日 (月・祝) (開場 140 日)	北澤美術館所蔵 ルネ・ラリック-モダン・パリのエレガンス- 【観覧者数：58,838 人】
	平成 31 年 4 月 27 日 (土) ～令和元年 9 月 23 日 (月・祝) (開場 140 日)	MARTA KLONOWSKA Istota マルタ・クロノフスカ 不思議ないきもの 【観覧者数：59,715 人】
	令和元年 10 月 12 日 (土) ～令和 2 年 2 月 9 日 (日) (開場 112 日)	リノ・タリアピエトラ ライフ・イン・グラス 【観覧者数：23,711 人】
	令和 2 年 2 月 29 日 (土) ～令和 2 年 9 月 22 日 (火) (令和元年度中開場 30 日)	マイクロコスモス：あらたな交流のこころみ 【令和元年度中 観覧者数：4,444 人】
令和 2 年度	令和 2 年 2 月 29 日 (土) ～令和 2 年 9 月 22 日 (火) (令和 2 年度中開場 129 日)	マイクロコスモス：あらたな交流のこころみ 【令和 2 年度中 観覧者数：15,602 人】 【期間計 観覧者数：20,046 人】
	令和 2 年 4 月 25 日 (土) ～令和 2 年 9 月 22 日 (火) (開場 117 日)	イヴァナ・シュラムコヴァ ここにあるもの 【観覧者数：15,000 人】
	令和 2 年 10 月 10 日 (土) ～令和 2 年 11 月 23 日 (月) (開場 43 日)	木梨憲武展 Timing -瞬間の光り- 【観覧者数：48,735 人】
	令和 2 年 12 月 12 日 (土) ～令和 3 年 3 月 14 日 (日) (開場 83 日)	インタラクション：響きあうこころ 【観覧者数：10,823 人】

令和2年度	令和3年3月6日(土) ～令和3年6月22日(火) (令和2年度中開場日25日)	高橋禎彦 playtime 【令和2年度中 観覧者数：4,307人】
令和3年度	令和3年3月6日(土) ～令和3年6月22日(火) (令和3年度中開場日77日)	高橋禎彦 playtime 【令和3年度中 観覧者数：8,438人】 【期間計 観覧者数：12,745人】
	令和3年4月10日(土) ～令和3年6月22日(火) (開場日69日)	サントリー美術館特別協力 ガラスに挑む—素材へのまなざし 【観覧者数：9,482人】
	令和3年7月10日(土) ～令和3年10月3日(日) (開場日57日)	富山ガラス大賞展2021 【観覧者数：14,312人】
	令和3年10月23日(土) ～令和4年1月23日(日) (開場日83日)	富山ガラス造形研究所創立30周年記念展 未来へのかたち 【観覧者数：17,543人】
	令和4年3月12日(土) ～令和4年6月26日(日) (令和3年度中開場日19日)	カースティ・レイ：静けさの地平 【観覧者数：3,902人】
令和4年度	令和4年3月12日(土) ～令和4年6月26日(日) (令和4年度中開場日81日)	カースティ・レイ：静けさの地平 【令和4年度中 観覧者数：18,403人】 【期間計 観覧者数：22,305人】
	令和4年7月16日(土) ～令和4年10月16日(日) (開場日87日)	コーニング・ガラス美術館共同企画 New Glass Now 【観覧者数：28,104人】
	令和4年11月3日(木・祝) ～令和5年1月29日(日) (開場日79日)	フィンランド・ガラスアート：輝きと彩りのモダンデザイン 同時開催：ムーミンの食卓とコンヴィヴィアル展—食べること、共に生きること— 【観覧者数：24,628人】
	令和5年2月11日(土・祝) ～令和5年2月19日(日) (開場日9日)	ガラスの街とやま連携展 「TOYAMA GLASS×(バイ)…」 【観覧者数：2,476人】
	令和5年3月4日(土) ～令和5年6月18日(日) (令和4年度中開場日27日)	アナザーワールド：不思議でリアルな世界 【令和4年度中 観覧者数：10,140人】

富山市ガラス美術館

基本方針

- 1 現代のガラス作品を中心に収集し、後世に伝えます。
- 2 ガラスを軸とした現代の多様な芸術表現を紹介し、人々に芸術との出会いの場を提供します。また、富山ゆかりのガラス作家の作品も紹介します。
- 3 収蔵作品や現代美術に関連した調査研究を実施し、その成果を社会に還元します。
- 4 芸術を通して、豊かな感性や知的好奇心を育みます。また、本市のガラスの街づくりにも寄与します。
- 5 併設する図書館と連携し、「透き通る」をテーマに、誰もが気軽に「美」と「知」に触れられる場として、まちなかの賑わいのある、魅力的な美術館を目指します。

令和 4 年度

富山市ガラス美術館
事業実績等

令和 4 年度 富山市ガラス美術館の予算額及び決算額について

No.	事業名	当初 予算額	決算額	主な事業の概要（数値は決算額）	3年度 決算額
1	管理運営事務 費	368,862 千円	369,344 千円	ガラス美術館の維持管理等を行うもの。 【内訳】 ・職員人件費（16名分） 102,914千円 ・委託料（総合案内受付、監視員業務委託等） 153,710千円 ・光熱水費 50,267千円 ・負担金（複合施設維持管理関係等） 32,636千円 ・その他施設管理経費（消耗品費、借上料等） 29,817千円	343,538 千円
2	作品収集保存 事業費	14,790 千円	13,081 千円	美術館が掲げる作品収集方針を基に、作品及び関連資料の収集を行う。また収集した作品を後世に伝えるための、調査研究と保存を行うもの。 【内訳】 ・備品購入費（新規収蔵作品購入費） 8,815千円 ・委託料（文化財虫菌害・保存環境調査業務委託等） 3,509千円 ・その他収集審査等にかかる経費 757千円	14,504 千円
3	調査研究事業 費	3,886 千円	2,010 千円	全国の美術館等と連携を図り、研修参加や情報収集に努めるとともに、ガラス美術を中心とした専門書籍の収集など、学芸の調査研究活動を行うもの。 【内訳】 ・旅費 1,289千円 ・負担金（ICOM会費、日本ガラス工芸会会費等） 300千円 ・消耗品費、備品購入費（美術関係雑誌等購入） 150千円 ・その他調査研究通訳手数料等 271千円	519 千円
4	展覧会開催事 業費	143,000 千円	144,795 千円	ガラス美術作品の企画展示・常設展示を行うもの。 【内訳】 ・企画展 ①カースティ・レイ 静けさの地平 15,648千円 ②コーニング・ガラス美術館共同企画「New Glass Now」 59,250千円 ③フィンランド・グラスアート：輝きと彩りのモダンデザイン （同時開催）ムーミンの食卓とコンヴィヴィアル展 一食べること、共に生きること 24,587千円 ④ガラスの街とやま連携展「TOYAMA GLASS×（パイ）…」 3,052千円 ⑤アナザーワールド 不思議でリアルな世界 16,857千円 ・常設展 3,861千円 ・郵便料、広告料、次年度展覧会準備など 21,540千円 【参考】観覧者数 175,170人 うち有料入館者数 140,634人、観覧料：88,794千円	83,529 千円
5	富山ガラス大 賞展開催事業 費	1,300 千円	2,052 千円	「富山ガラス大賞展2024」の開催に向けた準備として、審査員候補者の選定及び実施概要の作成等を行う。 【内訳】 ・委託料（特設サイト構築業務） 209千円 ・審査員就任依頼に係る経費（旅費等） 1,843千円	42,296 千円
6	教育普及事業 費	4,309 千円	3,906 千円	富山市及び連携中枢都市圏の関係市町村（滑川市、上市町、立山町、舟橋村）の小学4年の児童を「TOYAMAキラリ（美術館、図書館本館）」へ招待する学校招待プログラムを行うもの。 【内訳】 ・委託料（学校招待プログラム作品鑑賞補助等業務委託等） 3,902千円 ・その他事務費 4千円	3,238 千円
7	広報活動事業 費	16,095 千円	14,242 千円	ガラス美術館を広く多くの人に周知するため、展覧会等の広報活動を行うもの。 【内訳】 ・委託料（広告制作費・掲載費、ウェブサイト保守、広報印刷物製作費） 8,658千円 ・広告料等（るぶ・まっぷる等） 3,467千円 ・印刷製本費（館内パンフレット等） 1,864千円 ・その他通信運搬費等 253千円	15,588 千円
8	ガラス美術品等 取得基金費	3 千円	1 千円	ガラス美術品等の取得に要する費用に充当するために設置した基金に運用益等の積み立てを行うもの。 ・基金運用益積立金（令和4年度末現在高 4,935,937円） 1千円	1千円
合計		552,245 千円	549,431 千円		503,213 千円

令和 4 年度富山市ガラス美術館の主要事業について

1 作品収集保存事業

趣旨

美術館が掲げる作品収集方針を基に、作品及び関連資料の収集を行う。また収集した作品を後世に伝えるための、調査研究と保存を行うもの。

(1) 富山市ガラス作品等収集審査会について

ア 目的等

美術館におけるガラス作品及び関連資料の適正な収集を図るため、富山市ガラス美術館条例に基づく「富山市ガラス作品等収集審査会」を設置し、ガラス作品等を収集している。

イ 任命

審査会の委員は、ガラス作品等に関して学識経験を有する者の中から、教育委員会が任命する。

ウ 定数等 定数 5 人以内、任期 2 年

エ 富山市ガラス作品等収集審査会委員

任期 令和 4 年 2 月 24 日から令和 6 年 2 月 23 日まで

氏名	役職等	専門等
藤原 信幸 (会長)	東京藝術大学美術学部工芸科教授	ガラス造形
島 敦彦 (職務代理)	国立国際美術館長	現代美術
池田 まゆみ	北澤美術館 主席学芸員 日本大学芸術学部 非常勤講師	美術工芸史
外館 和子	多摩美術大学教授	工芸史
雪山 行二	前富山県美術館長	近・現代美術

(2) 作品収集方針について

富山市では、次の 5 つの収集方針のもと、収集を行っている。

ア 主に 1950 年代以降に制作された、現代ガラス美術発展の流れに沿った国内外のすぐれた作品

イ 次世代のガラス美術の方向を予見させる革新的で質の高い作品

ウ ガラス美術を歴史的・体系的に整理し、美術史上に位置づけるうえで重要と思われる作品

エ ガラス美術以外の造形分野で、“透き通る”というコンセプトにおいて特にすぐれており、ガラス美術の発展の参考となりうる作品

オ その他、美術館が収蔵するのにふさわしい資料等

(3) これまでの収集作品数について
511点の現代ガラス作品等を収集

(4) 令和4年度の収集作品について
令和5年1月16日(月)に「令和4年度富山市ガラス作品等収集審査会」を開催し、審査結果に基づき購入作品5点、寄附作品60件を収集することとした。

	作家名	作品名	制作年
購入作品	カースティ・レイ	刃	2004
	カースティ・レイ	雨を待つ	2017
	カースティ・レイ	とどまるもの	2019
	イワタルリ	鉢	1998
	家住利男	F.011203	2003
寄附作品		美光ぎやまんコレクション (全57件)	1776年～20世紀
	藤田潤	風の道	1996
	藤田喬平	音	1987
	藤田喬平	天地創生	1990

2 調査研究事業

趣旨

全国の美術館等と連携を図り、研修参加や情報収集に努めるとともに、ガラス美術を中心とした専門書籍の収集など、学芸の調査研究活動により、収集・展示・教育普及といった美術館の基本的な活動の質を高めるもの。

(1) 調査研究

作品の収集、保存、展示に関する調査研究を行うとともに、文化庁、全国美術館会議をはじめ、加盟する団体などが主催する専門的な知識・技術に関する研修に参加し、美術館の業務全般にわたり、スキルアップを図った。また、関係書籍の収集を行い、当館における調査研究を進めた。

現代ガラス作品を多く所蔵し、展示する当館では、文献による情報収集だけではなく、直接作家へ作品コンセプトや制作方法の聞き取りを行い、作品や作家、展示についての調査研究を深めた。

この他、他館学芸員や学識者との情報や刊行物の交換、美術資料の相互貸借等による連携や協力活動も行った。

(2) 加盟団体

ア ICOM (International Council of Museum : 国際博物館会議)

ICOM は、ミュージアムの進歩と発展を目的とした世界で唯一かつ最大の国際的非政府組織である。1946 (昭和21) 年に創設され、世界141の国と地域から41,000人の個人会員と3,000団体、8の特別委員会、118の国内委員会、32国際委員会、6の地域連盟、23の加盟機関により構成されている(2019 (令和元) 年時点)。なお、国際委員会の一つである「ICOM GLASS」の会長に、土田館長が就任。(令和4年10月～)

イ グラス・アート・ソサエティ

1971 (昭和46) 年にアメリカ・シアトルで設立されたガラス芸術の推進、教育普及、発展促進に貢献する国際的な非営利団体。作家や教育者、美術館、ギャラリー、美術批評家などのガラスに携わる人達の交流促進を目的に活動している団体。会員数は40カ国 5,000人以上(2022 (令和4) 年時点)。

ウ 日本博物館協会

館種や設置者を越えた横断的な博物館振興のための中核機関。1928 (昭和3) 年設立。「博物館研究」の発刊のほか、全国博物館大会、研究協議会等を開催し、博物館活動情報や諸問題について研究協議を行っている。

現在、1,295 (団体会員1,164、賛助会員51、個人会員80) の会員が参加している。(2023 (令和5) 年4月時点)

エ 全国美術館会議

「日本の美術館がともに考え、ともに行動すること」を目指し、1952（昭和27）年に設立。当会議は、収集・保存、調査・研究、展示、教育普及等の活動を通じて美術作品やそれに関わる資料を未来に伝えていくという美術館の使命を支え、社会的に根付かせるため、総会や研究会等を毎年開催し、広く情報の共有を行っている。2020（令和2）年4月1日に一般社団法人に設立登記し、406館（国立10館、公立259館、私立137館）の正会員と、36名の個人会員、48団体の賛助会員で組織されている。（2022（令和4）年6月4日時点）。

オ 北信越博物館協会

北信越博物館協会は博物館相互の連絡を図り、博物館活動の振興に努め、学術及び文化の発展に寄与することを目的として、富山・石川・福井・長野・新潟各県内にある博物館及び総会で認めたこれに準ずる施設等によって組織される。

カ 富山県博物館協会

「富山県内にある博物館施設の関係者相互の連絡提携をとり、博物館事業の普及発展を図ること」を目的とし、1966（昭和41）年に結成された。現在県内の博物館・美術館を含む、公立や私立の71施設が加盟している。（2022（令和4）年10月3日時点）

キ 日本ガラス工芸学会

ガラスに関わる研究会や資料紹介・講習会等の活動を通じて、ガラスの研究者、同好者、制作者との交流を促進するとともに、海外関係団体との提携によりガラス研究と文化の振興を図ることを目的として、1975（昭和50）年に設立。特別会員1、賛助会員3、一般法人会員11、正会員178、購読会員4の合計197の個人と団体が加盟している（2020（令和2）年3月末日時点）。

3 展覧会開催事業

趣旨

現代ガラス美術がもつ多様な側面に焦点を合わせた幅広い内容の作品に出会い、対話する機会を、市民をはじめ、より多くの方々に提供するため、ガラス美術作品の常設展示・企画展示を行うもの。

(1) 令和4年度 常設展等の概要

ア コレクション展

(ア) 概要

富山市ガラス美術館では、主に1950（昭和25）年代以降に制作された国内外の現代ガラス作品を所蔵している。コレクション展では、所蔵作品の展示を行うことで、作家たちがそれぞれの思想や文化、社会的背景、価値観を反映しながら生み出してきた多様な表現を紹介する。

(イ) 会期等

① コレクション展 グラスアート：三つのフローラ

令和4年5月21日（土）～令和4年11月13日（日）

② コレクション展 オノマトペで見つける、ガラスの不思議

令和4年11月19日（土）～令和5年6月4日（日）

(ウ) 会場 展示室4、透ける収蔵庫（4階）

(エ) 観覧料 一般・大学生200円 高校生以下無料 ※6階グラス・アート・ガーデンも観覧可

(オ) 関連事業（学芸員によるトークイベント）各回14時～

■ コレクション展 グラスアート：三つのフローラ 見どころトーク

令和4年5月29日（日）、6月11日（土）、7月9日（土）、24日（日）、
8月13日（土）、28日（日）、9月10日（土）、25日（日）、10月8日（土）、
23日（日）、11月5日（土）

会場 展示室4、透ける収蔵庫（4階）

■ コレクション展 オノマトペで見つける、ガラスの不思議 見どころトーク

令和4年11月27日（日）、12月11日（日）、令和5年1月8日（日）、
28日（土）2月5日（日）、18日（土）、3月19日（日）、21日（火・祝）、
4月1日（土）、23日（日）、5月6日（土）、28日（日）、6月4日（日）

会場 展示室4、透ける収蔵庫（4階）

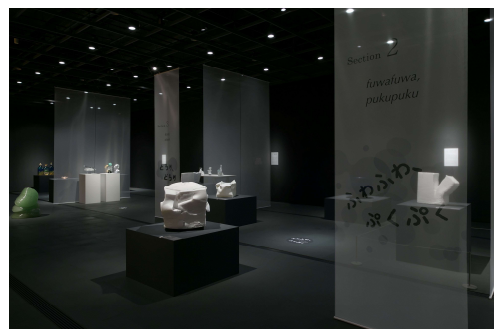
(カ) 展示風景

グラスアート：三つのフローラ



撮影：末正真礼生

オノマトペで見つける、ガラスの不思議



撮影：岡村喜知郎

イ グラス・アート・ガーデン：チフリー・エクスペリエンス

(ア) 概要

「トヤマ・フロート・ボート」など、建物と融合するように展示される5つのインスタレーション（空間芸術）作品とパネル作品は、現代ガラス芸術を代表する作家、デイル・チフリー氏と彼のスタジオメンバーによって2015（平成27）年に制作された。来場者は美術館6階を回遊することで、鮮やかな色彩のガラス、幻想的な光と影で表現されたデイル・チフリー氏の多様な作品を体感・体験することが出来る。

(イ) 会期 通年

(ウ) 会場 グラス・アート・ガーデン（6階）

(エ) 観覧料 一般・大学生200円 高校生以下無料 ※4階コレクション展も観覧可

ウ グラス・アート・パサージュ

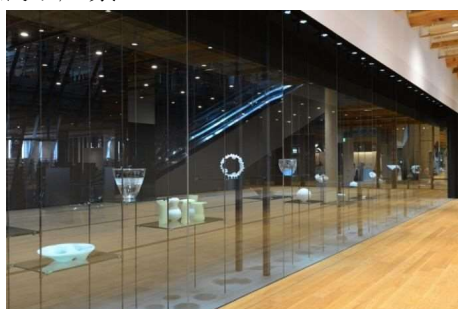
(ア) 概要

富山ゆかりの作家によるガラス作品を「TOYAMA キラリ」内に展示するもの。富山ガラス造形研究所や富山ガラス工房において作品制作、作家活動を行い、その後全国各地で活躍する20名の作家によって制作された作品を展示。2階から4階までの美術館と図書館のオープンエリアにおよそ50点の作品を展示することで、来館者が気軽に現代ガラス表現を鑑賞できる機会となっている。

館内にて同展示について紹介する小冊子『グラス・アート・パサージュガイドブック』を配布している。

(イ) 会期 通年（年に1回展示替え）

(ウ) 展示風景



4階（展示室4の壁面）



4階（図書館内）

エ ストリート・ミュージアム

(ア) 概要

まちなかの歩道や建物内にガラス作品等を展示している。

(イ) 設置箇所

- ・エキシビジョン・ショーケース：城址大通りを中心に12基設置
（うち4基は、令和4年度に撤去）
- ・富山駅前ショーケース：富山駅前エスタ前に1基設置（令和4年度に作品を撤去）
- ・広告パネル：アヴィレ（自転車市民共同利用システム）付近にショーケース3基、
ポスター掲示パネル1基設置



エキシビジョン・ショーケース



広告パネル

(2) 令和4年度 企画展概要

ア カースティ・レイ 静けさの地平

(ア) 概要

本展は、オーストラリアの現代ガラスアートを代表する作家として、キャンベラを拠点とするカースティ・レイ氏による日本初の個展を開催した。作家にとっても過去最大規模の個展となった本展では、およそ40年に及ぶ創作の歩みを紹介した。

1986（昭和61）年にキャンベラ・スクール・オブ・アート（現オーストラリア国立大学スクール・オブ・アート&デザイン）ガラス科を第1期生として卒業したレイ氏は、現在まで作家・教育者として活躍してきた。レイ氏のガラス彫刻やインスタレーションには、場所への敬意や愛着とともに、人間と環境の共生関係への関心が込められている。「静けさの地平」をテーマに全7章で構成された展示空間には、本展に向けて制作された最新作《リフレクトー開かれた誘い》や、クラウド・モイエ・グラス・アワードを受賞した《とどまるもの》といった代表作をはじめとする52点が並んだ。

関係者向けに開催した開会式および内覧会には、駐日オーストラリア特命全権大使ジャン・アダムズ閣下を来賓として招き、内覧会では新田八郎富山県知事や富山市長、富山市ガラス美術館長と共に学芸員による解説付きで作品を鑑賞していただいた。

また、本展では美術館公式YouTube、インスタグラム、フェイスブックでの広報活動を行う他、来場者による会場内撮影・SNSへの投稿を可能とした。会場入口前には大型モニターを設置してレイ氏出演映像を上映し、美術館公式SNSなどによる配信も行った。関連イベントとして、学芸員による見どころトークを開催し、鑑賞機会の充実を図った。

(イ) 会期 令和4年3月12日（土）～令和4年6月26日（日）

(ウ) 会場 展示室1-3（2・3階）

(エ) 観覧料 一般 1,200円 大学生 1,000円 高校生以下無料

(オ) 観覧者数 18,403人（今年度分）（通算 22,305人）

(カ) 関連事業

■開会式

令和4年3月11日（金）16時00分～ 会場 2階ロビー

■カースティ・レイ氏 記念講演会

令和4年6月11日（日）11時00分～12時30分 会場 2階ロビー

講師 カースティ・レイ（本展出品作家）※講演会の様子は美術館公式YouTubeチャンネルにて同時配信。（現在アーカイブ配信中）

■学芸員による見どころトーク

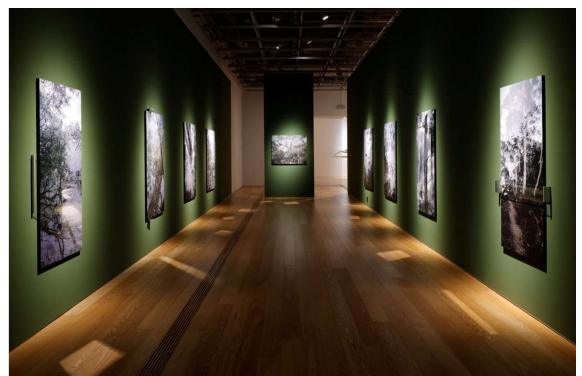
令和4年3月26日（土）、4月16日（土）、5月21日（土）、6月18日（土）

各回14時00分～ 会場 展示室1-3（2・3階）

(キ) 展示風景



撮影：渡邊修¹⁹



撮影：渡邊修

イ コーニング・ガラス美術館共同企画 New Glass Now

(ア) 概要

本展は、2021（令和3）年の富山市ガラス美術館とアメリカのコーニング・ガラス美術館との文化プロジェクトに関する相互協力の協定締結後、初めて開催される展覧会である。コーニング・ガラス美術館で2019（令和元）年に開催された「New Glass Now」展に出品され、その後収集された50を超える作家及び団体による48件の作品を特別に借用し、当館独自の展示構成により紹介した。会場には、ガラスで作られた彫刻や平面作品はじめ、ガラス製品、建築の外壁サンプル、動画や写真など、多種多様な作品が並んだ。また、ガラス制作の場で使用される用語に着目したポスター作品といった、ガラス素材自体が使われていない作品も含まれ、正に本展が目指した「現代のガラス制作の幅の広さと深さ」を体感することの出来る展示となった。

展覧会の関連プログラムとして、一般公開日には、コーニング・ガラス美術館スタジオのシニア・プログラム・マネージャーを務める、リチャード・ホワイトリー氏を代理講師に迎え、特別記念講演会を開催した。また会期中には、担当学芸員による見どころトークを実施した他、当館初の試みとして小学生3・4年生を対象とした対話多鑑賞プログラムを開催し、幅広い世代の方に展覧会や出品作品について理解を深める機会となった。

(イ) 会期 令和4年7月16日（土）～令和4年10月16日（日）

(ウ) 会場 展示室1-3（2・3階）

(エ) 観覧料 一般 1,200円 大学生 1,000円 高校生以下無料

(オ) 観覧者数 28,104人

(カ) 関連事業

■開会式・内覧会

令和4年7月15日（金）16時00分～ 会場 2階ロビー、展示室1-3（2・3階）

■特別記念講演会

令和4年7月16日（土）14時00分～ 会場 2階ロビー

代理講師 リチャード・ホワイトリー氏（コーニング・ガラス美術館スタジオ シニア・プログラム・マネージャー）

■学芸員による見どころトーク

令和4年7月30日（土）、8月6日（土）、9月3日（土）、9月17日（土）、
10月1日（土）、10月15日（土） 各回14時00分～

会場 展示室1-3（2・3階）

(キ) 展示風景



撮影：末正真礼生



撮影：末正真礼生

ウ フィンランド・グラスアート：輝きと彩りのモダンデザイン

同時開催：ムーミンの食卓とコンヴィヴィアル展—食べること、共に生きること—

(ア) 概要

S2株式会社の共催のもと行う本展は、フィンランド在住のコレクターであるキュオスティ・カッコネン氏よりお借りした1930年代から今に至る8名のデザイナーと作家の作品約140件によって、フィンランド・グラスアートの系譜をたどるものである。これまでの展覧会で主に紹介されてきたプロダクトとは異なる、芸術的志向の高い「アートグラス」をメインとした展示により、各作家による素材の探求やプライベートな思いを鑑賞者に感じていただいた。また5階のギャラリー1・2では、同時開催としてムーミン物語に登場する食べ物に焦点を当てた展示を行い、原画やフィギュアなどを紹介した。

会期中には、フィンランドセンター所長のアンナ＝マリア・ウィルヤネン氏をお招きし、世界一幸福度が高いといわれるフィンランドの暮らしとデザインのかかわりについてご講演をいただいた。また、フィンランドの伝統的な装飾品である「ヒンメリ」を制作するワークショップを開催した。現在ではクリスマスの飾りとしてもつかわれるヒンメリは、元来藁を用いて制作されるが、今回のワークショップでは富山ガラス工房が特別に加工した中空の細いガラス管で制作を行った。

(イ) 会期 令和4年11月3日(木・祝)～令和5年1月29日(日)

(ウ) 会場 フィンランド展：展示室1-3(2・3階)
ムーミン展：ギャラリー1・2(5階)

(エ) 観覧料 一般1,500円、大学生1,300円、高校生以下無料

(オ) 観覧者数 24,628人

(カ) 関連事業

■開会式・内覧会

令和4年11月2日(水)15時00分～ 会場：2階ロビー、展示室1-3(2・3階)

■記念講演会「世界一幸せな国フィンランドの暮らしとデザイン」

令和4年11月12日(土)11時00分～ 会場 2階ロビー

講師 アンナ＝マリア・ウィルヤネン氏(フィンランドセンター所長)

■ワークショップ「ガラスのヒンメリを作ろう！」

令和4年12月3日(土)①10時30分～ ②13時30分～

会場 6階レクチャールーム 講師 土田ルリ子、西田真

■館長による作品解説

令和4年11月20日(日)、12月17日(土)、令和5年1月9日(月・祝)、
1月21日(土) 各回14時00分～ 会場 展示室1-3(2・3階)

■ライブラリー&ミュージアム クリスマスコンサート

令和4年12月24日(土)13時00分～13時40分 会場：2階ロビー

(キ) 展示風景



エ ガラスの街とやま連携展「TOYAMA GLASS×（バイ）・・・」

(ア) 概要

本展は、富山市がこれまで30年以上にわたり街づくりの柱の一つとして掲げてきた、ガラスをテーマとした政策で整備された3施設（富山ガラス工房、富山市ガラス造形研究所、富山市ガラス美術館）が連携し、ガラスの産業化や作家支援等に資することを目的とした展覧会をガラス造形研究所卒業制作展とあわせて開催した。

本展では、富山ガラス工房が県内事業所や大学と共同研究開発した色ガラス「富山曼荼羅彩」の中から、「越翡翠（白緑）」、「越碧」、「越琥珀」を使い、令和3年度にガラス美術館で個展を行った高橋禎彦氏、ガラス造形研究所の第一期生である安田泰三氏、ガラス造形研究所准教授である松藤孝一氏といった、富山市にゆかりがあり日本のガラスアート界を牽引する3名の作家が制作した作品を展示した。本展に併せ、3階展示室3及び5階ギャラリー1・2ではガラス造形研究所卒業制作展を行い、館内を広く回遊して鑑賞できる形式で3施設の成果を発信した。

(イ) 会期 令和5年2月11日（土）～令和5年2月19日（日）

(ウ) 会場 展示室1（2階）

(エ) 観覧料 無料

(オ) 観覧者数 延べ6,168人（展示室が複数カ所であるため延べ数）

(カ) 関連事業

■開会式・内覧会

令和5年2月10日（土）16時00分～

会場：2階ロビー、展示室1－3（2・3階）および5階ギャラリー1・2

■富山曼荼羅彩ガラス万華鏡制作ワークショップ

令和5年2月18日（土）10時30分～11時30分

会場：6階レクチャールーム

主催：一般財団法人富山市ガラス工芸センター（富山ガラス工房第2工房）

■ライブラリー&ミュージアムコンサート

令和5年2月18日（土）14時00分～14時30分

会場：2階ロビー

(キ) 展示風景



オ アナザーワールド：不思議でリアルな世界

(ア) 概要

本展は、私たちが生きる世界のもうひとつの姿、すなわち『アナザーワールド』をテーマに、国内で活躍する7名の作家によるグループ展を開催するものである。見慣れたもののこれまで見えなかった一面や物事のもうひとつの側面など、普段は意識の外側にあるものを、本展では「アナザーワールド」として捉え、4つのセクションで作品を展示した。

会場には、素材や制作方法に工夫を凝らすことでガラスの既成概念を打ち破るようなものや、普段は見落とししてしまいがちな繊細な感覚に目を向けたもの、空気や気配、時間の流れといった目に見えないものをとらえ視覚化したものなど、身の回りの物事を新鮮な目で見つめた、約70件の多様な作品が並んだ。

一般公開初日にはアーティストトークを開催し、7名の出品作家が自身の制作や今回の展示作品等について、スライドを用いて語った。なお、同イベントはYouTubeによる配信も行った。また、担当学芸員による見どころトークを開催し、鑑賞機会の充実を図った。

(イ) 会期 令和5年3月4日(土)～令和5年6月18日(日)

(ウ) 会場 展示室1-3(2・3階)

(エ) 観覧料 一般1,000円、大学生800円 高校生以下無料

(オ) 観覧者数 10,140人(3月31日時点)

(カ) 関連事業

■開会式・内覧会

令和5年3月3日(金) 16時00分～

会場：2階ロビー、展示室1-3(2・3階)

■アーティストトーク「7人の作家と7つの世界」

令和5年3月4日(土) 10時30分～12時00分 会場 2階ロビー

出演：今井瑠衣子氏、植村宏木氏、木下結衣氏、小林千紗氏、高橋まき子氏、竹岡健輔氏、津守秀憲氏(出品作家、五十音順)

■ライブラリー&ミュージアムコンサート

令和5年3月4日(土) 12時00分～12時20分

会場：2階ロビー

■見どころトーク

令和5年3月26日(日) 14時00分～

会場 展示室1-3(2・3階)

(キ) 展示風景



撮影：末正真礼生



撮影：末正真礼生

4 教育普及事業

趣旨

美術館が掲げる基本方針に則り、誰もが気軽に「美」と「知」に触れられる場として、豊かな感性や知的好奇心を育むため、教育普及プログラムを行うもの。

(1) 令和4年度 教育普及事業の概要

ア 令和4年度学校招待プログラム

(ア) 概要

富山市内および広域連携中枢都市圏市町村の小学校4年生をガラス美術館および市立図書館本館へ招待した。美術館では豊かな感性を育むことを目的とした教育普及プログラムを、図書館では知識教養を深めることを目的としたプログラムを計画し、併せて複合施設の建築見学も行った。

(イ) 実施期間

令和4年6月20日～11月11日（計50回実施）

(ウ) 参加実績

74校（富山市62校、滑川市3校、上市町6校、立山町2校、舟橋村1校）

3,416名（富山市3,134名、滑川市88名、上市町125名、立山町39名、舟橋村30名）

(エ) 中止校への対応

①企画展招待券、②企画展チラシ、③ミュージアムガイド、④図書館施設案内を配布し、自主的な来館を促す。

配布実績 1校（富山市）、26部



コレクション展鑑賞の様子
（佐々木類《植物の記憶》2019年）



館内見学中の様子

イ よく見て！いっぱい話そう！アートでおしゃべり鑑賞会！

～いろいろなガラスの表現を発見しよう～

(ア) 概要

企画展「コーニング・ガラス美術館共同企画 New Glass Now」の関連プログラムとして、三ツ木紀英氏を講師に、小学3・4年生を対象とした対話型鑑賞プログラムを開催した。

本プログラムでは、展示作品のアートカードを用いた会話や、展示室内の探索、作品を囲みながら話す対話型鑑賞、振り返りシートを用いた個人鑑賞、そして参加者による発表を通してコミュニケーションを促し、子どもたちの展示作品に対する興味関心を引き出すことを目指した。

- (イ) 日 程 令和4年8月20日(土)
①午前10時30分～、②午後2時00分～(各回90分程度)
- (ウ) 会 場 3階ロビー、展示室1-3(2・3階)
- (エ) 講 師 三ツ木紀英(NPO 法人 芸術資源開発機構代表/アート・エデュケーター)
- (オ) 対 象 小学校3、4年生
- (カ) 定 員 各回7名程度(事前申込制、応募多数の場合は抽選)
- (キ) 参加費 500円
- (ク) 申込期間 令和4年7月19日(火)～8月7日(日)※
※参加者が定員に満たないため8月14日まで申込期間を延長。
- (ケ) 申込方法 オンラインフォーム
- (コ) 申込数 合計11名
- (サ) 参加実績 ①午前10時30分～ 5名、②午後2時00分～ 4名※
※当日2名のキャンセルが生じたが、参加者の兄弟が1名参加。



(2) 実習等受け入れ

ア 社会に学ぶ『14歳の挑戦』

(ア) 概 要

富山市内の中学2年生が「規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、生涯にわたってたくましく生き抜く力を身に着ける」ため実施される5日間の職場体験活動について、受け入れを行った。

(イ) 日 程 7月4日(月)～7月8日(金)

(ウ) 受入実績 3名(水橋中学校1名、新庄中学校2名)

イ 博物館実習

(ア) 概 要

学芸員資格の取得を目指す学生に対し、博物館法施行規則第1条の規定に基づき、博物館実習の受け入れを行った。

(イ) 日 程 8月22日(月)～8月26日(金) 計5日間

(ウ) 受入実績 4名(静岡文化芸術大学、都留文科大学、富山大学)

5 広報活動事業

趣旨

ガラス美術館の活動を広く多くの人に周知するため、開催する展覧会等に関する広報活動を行うもの。

(1) 主な広報（広告）媒体

ア 広報とやま（発行部数：17万4千部）

美術館の企画展特集や見どころトーク情報、臨時休館情報を掲載。

特集掲載号（※お知らせ等の簡易な掲載は除く）

7月5日号、10月5日号、2月5日号



（企画展特集）
コーニング・ガラス美術館共同企画
New Glass Now



（企画展特集）
フィンランド・ガラスアート
輝きと彩りのモダンデザイン



（企画展特集）
アナザーワールド
不思議でリアルな世界

イ 新聞広告

企画展についての新聞広告を掲載。

北日本新聞 7月16日（土）（New Glass Now展）

7月16日（土）（美術館広告）

11月 3日（木・祝）（フィンランド・ガラスアート展）

3月 4日（土）（アナザーワールド展）

富山新聞 4月17日（日）（美術館広告）

1月 3日（火）（フィンランド・ガラスアート展）

3月 4日（土）（アナザーワールド展）



ウ 「トランヴェール」美術館広告（12月号）

（読読可能者数：平均900万人/月（2021年度輸送人員データ）

JR東日本の新幹線〈北陸・上越・東北（北海道）・山形・秋田）
全座席ポケットに設置されているフリーペーパーに美術館全体の広告を掲載。



2022年12月号 (1/3p)

エ 「まっぷる」、「るるぶ」美術館広告

旅行誌「まっぷる」「るるぶ」「ことりっぷ」にガラス美術館広告を掲載。

掲載号：まっぷる北陸金沢'23（9月発行、8万8千部）、
ことりっぷマガジン Vol.35（12月発行、8万部）、
まっぷる金沢'24（2月発行、13万3千部）、
るるぶ富山'24（2月発行、3万7千部）、
るるぶ金沢'24（3月発行、10万4千部）



まっぷる金沢 '24 1p

ことりっぷマガジン Vol.35 1p

オ 海外雑誌

現代におけるガラス芸術を幅広く紹介する海外雑誌に企画展「コーニング・ガラス美術館共同企画 New Glass Now」、「フィンランド・グラスアート：輝きと彩りのモダンデザイン」の広告を掲載。

「Neues Glas」広告 (NO. 3、NO. 4/2022) (発行部数：1, 500部)

「Glass (Urban Glass)」広告 (発行部数：8, 000部)



「Neues Glas」広告(3/2022) 1/2 p

カ 「美術手帖」企画展広告

現代美術を中心に、国内外の美術動向を紹介する美術雑誌。

雑誌広告 発行部数：20, 000部



美術手帖 2023. 04 号

キ 関連施設での展覧会ポスター掲載

富山城址公園

「コーニング・ガラス美術館共同企画 New Glass Now」 (6基)

「アナザーワールド：不思議でリアルな世界」 (3基)

富山駅周辺

「コーニング・ガラス美術館共同企画 New Glass Now」 (6か所)

「フィンランド・ガラスアート：輝きと彩りのモダンデザイン」

(3か所)

「アナザーワールド：不思議でリアルな世界」 (3か所)

富山空港

「コーニング・ガラス美術館共同企画 New Glass Now」 (2か所)

「フィンランド・ガラスアート：輝きと彩りのモダンデザイン」

(2か所)

「アナザーワールド：不思議でリアルな世界」 (2か所)



富山城址公園



富山駅南北自由通路



富山空港

ク 路面電車ラッピング

令和4年11月2日(水)から11月30日(水)の間、路面電車に企画展「フィンランド・ガラスアート：輝きと彩りのモダンデザイン」のイメージラッピングを施した。



路面電車ラッピング (TOYAMAキラリ前)

ケ ガラス美術館ホームページ

展覧会情報や見どころトークをはじめとしたイベント情報などを随時発信。



展覧会
アナザーワールド：不思議でリアルな世界
 会期：2023年3月4日（土）～6月18日（日）
 開催時間：午前9時30分～午後5時
 （金・土曜日は午後10時まで、入場は閉館前30分まで）
 休館日：第1・3・5回日（土日・祝日）は閉館、5/10（水）は閉館
 会場：富山県ガラス美術館 2・3階 展示室1・2

概要
 もうひとつの世界「アナザーワールド」は、目を凝らして多くの人が驚かされるアートです。人は無目的地に、普段の生活で知られぬことのできないものに思いを馳せ、想像を掻き立てられます。その「普通でない」何かが、目には見えない何かへの憧れや好奇心は、さまざまな世界を創り出し、見る者の心を揺らかせてきました。私たちのまわりの世界、未知の世界の奥深く、社会、経済の大きな変動によって、新しい状況や想像が生まれています。その上、状況では、日常の常識と異なるものだけなく、常識の外にあるものを生み出す、向かうための想像力と意欲が、私たちに新しい不安を乗り越えていくための大きな力となります。

本展覧会は、まさに未知（いま）を生きたるべきの未来によるガラス作品制作の場、「アナザーワールド」としてご観覧いただけます。見るものと思えないもの、想像したものや夢の具現化は、内容と表現、夢と発想、本展覧会に集った人々の想像力は、そのとおり、二重性をもつ素材だからこそ表現できるものでないでしょうか。これらの作品は、私たちのいる世界のもうひとつの世界を見せてくれるでしょう。現実と想像の境界にある「不思議でリアルな世界」との出会いを、どうぞお楽しみください。

主催 富山県ガラス美術館
協賛 北日本新聞社、富山新聞社、北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ

チラシ（ダウンロードしてください）
プレスリリース（ダウンロードしてください）

関連プログラム
アーティストトーク「7人の作家と7つの展覧会」
 出品作家によるトークイベントを開催します。
 日 時：3月5日（土）12：30から
 観覧申込制、参加無料
 申込方法などの詳細は、こちらをご覧ください。
 配信URL：https://pubble.com/event/7HGQ8E2D

開催員による見どころトーク
 担当学芸員が展覧会や出品作品について、わかりやすく解説します。
 日 時：3月6日（日）、4月16日（日）、4月30日（日）、5月7日（日）、6月3日（土）、6月17日（土）各回14：00から
 観覧申込不要、参加無料

おとなの展覧会
 アナザーワールドでアーティストトーク（予定）
 出品作家の丁寧な解説を聞きながら、アーティストを制作するワークショップを開催します。
 日 時：5月1日（日）13：30から（2時間程度）
 講 師：本学講師（出品作家）
 対 象：15歳以上
 観覧申込制、応募者多数の場合は抽選
 申込方法などの詳細は、富山県ガラス美術館公式ホームページ「お知らせ」にてご案内いたします。

ガラス美術館ホームページ

コ SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の活用

令和2年度に立ち上げた Facebook 及び Instagram の当館独自の公式アカウントに加えて、令和3年度には YouTube の公式チャンネルを開設し、継続的にイベントのライブ配信を実施。

Facebook





Instagram



YouTube

(2) 令和4年度年間スケジュール



年間スケジュール（両面カラー A4 巻き三つ折 日 30,000 部・英 3,000 部）

(3) 多言語での美術館情報の提供

海外観光客の利便性を向上させるため、「QR Translator」を平成28年度に導入。展示会のチラシや名刺型のカードに印刷したQRコードをスマートフォンなどで読み取ることで、館内案内や展示会情報を8カ国語（日本語、英語、簡体字、繁体字、ハングル、仏語、独語、伊語）で表示できる。

令和2年度に当日観覧券にもQRコードを印字、令和3年度には、グラス・アート・ガーデンの音声ガイドを導入し、利用者の利便性の向上を図っている。



スマートフォンでの表示画面

世界的な建築家の隈研吾氏が設計を手掛けた建物は、御影石、ガラス、アルミの異なる素材を組み合わせ、表情豊かな立山連峰を彷彿とさせる外観となっています。また、内部は富山県産材のルーバー（羽板）を活用した温もりのある開放的な空間となっています。

本美術館は、常設展として、富山市所蔵の現代ガラス美術作品を展示するコレクション展をはじめ、展示室の壁面や図書館内に富山ゆかりの作家の作品を展示する「ガラス・アート・パサージュ」があります。また、6期「ガラス・アート・ガーデン」には、現代ガラス美術の巨匠デイル・チーフリ氏の工房が制作したインスタレーション（空間芸術）作品を展示します。企画展では1950年代以降の現代ガラスを中心に、様々な美術表現を紹介します。



名刺型のカード：表面



名刺型のカード：裏面



当日観覧券

令和4年度TOYAMAキラリ公益施設（美術館及び図書館）入館者数及び富山市ガラス美術館観覧者数について

【月別】

月	TOYAMAキラリ (公益施設) 入館者数		美術館観覧者数(人)										開館日数
	有料					無料					合計		
	一般	大学生	団体	前売券	一部減免※1	小計	高校生以下	招待者	減免※2	教育普及 (引率含む)		小計※3	
R4.4	6,110	171	72	1	2,016	8,370	1,028	224	464		1,716	10,086	28
5	11,280	286	157	2	3,760	15,485	1,515	240	761		2,516	18,001	29
6	5,148	162	107	11	1,625	7,053	539	537	490	785	2,351	9,404	28
7	7,611	105	67	10	2,126	9,919	1,016	138	532	1,091	2,777	12,696	29
8	11,480	711	127	3	3,623	15,944	3,119	261	840		4,220	20,164	29
9	9,787	734	134	8	2,449	13,112	1,170	270	576	854	2,870	15,982	28
10	9,591	121	298	6	2,040	12,056	1,349	394	601	371	2,715	14,771	29
11	10,530	341	640	76	2,952	14,539	1,463	397	1,804	565	4,229	18,768	28
12	7,005	307	389	39	1,763	9,503	909	277	501		1,687	11,190	26
R5.1	5,733	242	655	63	1,578	8,271	964	1,116	623		2,703	10,974	28
2	9,030	0	718	0	1,178	10,926	705	53	458		3,692	14,618	26
3	10,863	1,065	880	4	2,644	15,456	1,989	287	784		3,060	18,516	29
合計	104,168	4,245	4,244	223	27,754	140,634	15,766	4,194	8,434	3,666	34,536	175,170	337

※1…(例)「えこまいか」の提示、「地鉄電車・バス1日ふり〜きつぷ」の提示など

※2…(例)富山市民で70歳以上の方、「孫とおでかけ」支援事業など

※3…企画展「TOYAMA GLASS x (バイ)…」の会期は2/11~2/19で、観覧料は無料。受付で人数のみカウントしており券種区分は不明であるため、本展観覧者数2,476名は2月の小計に計上。

令和4年度富山市ガラス美術館展覧会別観覧者数について

【展覧会別】

展覧会名	会期	開場日数	展覧会観覧者数(人)														
			有料							無料							合計
			一般	大学生	団体	前売券	一部減免	小計	高校生以下	招待者	減免	教育普及	小計				
カースティ・レイ：静けさの地平	4/1～6/26	81	9,652	619	24	14	3,610	13,919	2,153	941	1,390	0	4,484	18,403			
New Glass Now	7/16～10/16	87	14,276	1,671	154	27	5,319	21,447	3,991	989	1,677	0	6,657	28,104			
フィンランド・ガラスアート (同時開催：ムーミン展)	11/3～1/29	79	12,420	890	92	178	4,732	18,312	2,844	1,761	1,711	0	6,316	24,628			
TOYAMA GLASS x (ハイ) … ※1	2/11～2/19	9												2,476			
アナザーワールド：不思議でリアルな世界	3/4～6/18	27	4,987	1,065	42	4	1,681	7,779	1,523	265	573	0	2,361	10,140			
常設展 ※2	4/1～3/31		62,833		3,932	0	12,412	79,177	5,255	238	3,083	3,666	12,242	91,419			
合計			104,168	4,245	4,244	223	27,754	140,634	15,766	4,194	8,434	3,666	34,536	175,170			

※1 観覧料は無料。受付で人数のみカウントしたため券種区分は不明。
 ※2 常設展のみの観覧者（企画展観覧券による常設展観覧者は除く）

「TOYAMAキラリ」及び「富山市ガラス美術館」来館者数の推移

		TOYAMAキラリ公益施設 (美術館・図書館)				ガラス美術館				
		来館者数		開館日数		来館者数		開館日数		
		月計	累計	月計	累計	月計	累計	月計	企画展 開催日	常設展 開催日
H27	年度計	484,998	484,998	211	211	126,607	126,607	204	168	204
H28	年度計	623,584	1,108,582	350	561	138,618	265,225	337	276	333
H29	年度計	739,344	1,847,926	361	922	129,007	394,232	337	278	331
H30	年度計	1,058,161	2,906,087	364	1,286	374,899	769,131	342	285	338
R1	年度計	804,150	3,710,237	365	1,651	163,797	932,928	341	282	337
R2	年度計	514,178	4,224,415	332	1,983	118,992	1,051,920	302	270	293
R3	年度計	522,107	4,746,522	343	2,326	94,393	1,146,313	313	236	305
R4	4月	48,074	4,794,596	30	2,356	10,086	1,156,399	28	28	28
	5月	61,894	4,856,490	31	2,387	18,001	1,174,400	29	29	29
	6月	48,555	4,905,045	30	2,417	9,404	1,183,804	28	24	28
	7月	53,878	4,958,923	31	2,448	12,696	1,196,500	29	15	29
	8月	65,308	5,024,231	31	2,479	20,164	1,216,664	29	29	29
	9月	55,479	5,079,710	30	2,509	15,982	1,232,646	28	28	28
	10月	55,150	5,134,860	31	2,540	14,771	1,247,417	29	15	29
	11月	60,153	5,195,013	30	2,570	18,768	1,266,185	28	27	28
	12月	44,210	5,239,223	28	2,598	11,190	1,277,375	26	26	26
	1月	48,893	5,288,116	30	2,628	10,974	1,288,349	28	26	28
	2月	51,589	5,339,705	28	2,656	14,618	1,302,967	26	0	26
	3月	53,078	5,392,783	31	2,687	18,516	1,321,483	29	27	29
		年度計	646,261	5,392,783	361	2,687	175,170	1,321,483	337	274

令和4年4月1日～令和5年3月31日

	催 事 名	開催期間	展示日数		主催者	入場者数
			ギャラリー1	ギャラリー2		
1	bobbin ten ～オーダーメイド洋服の世界～ vol.1 Dress	4/2(土)～4/4(月)		3	atelier bobbin 田島 史歩子	343
2	立山黒部ジオパーク協会×富山県自然保護協 会合同写真展 奇跡の大地と自然の鼓動	4/8(金)～4/11(月)	4	4	立山黒部ジオ パーク協会	1,031
3	Abox Photo Club Toyama写真展 Vol.5	4/15(金)～4/17(日)	3	3	Abox Photo Club とやま写真展実 行委員会	802
4	とやまポートレート展 Vol.4	4/23(土)～4/24(日)	2		Portrait Toyama Association	326
5	UTCC写真展 深呼吸	5/3(火・祝)～5/5(木・祝)		3	UTCC	1,830
6	第10回パッチワークジョイクラブ作品展	5/19(木)～5/22(日)	4	4	パッチワーク・ジョ イ・クラブ	941
7	世界の子どもの本展/世界のバリアフリー児童図 書展	5/24(火)～6/5(日)	13	13	富山市立図書館	1,220
8	大塚千鶴子・館谷章子 ミシンキルト二人展	6/17(金)～6/19(日)	3	3	大塚 千鶴子 館谷 章子	806
9	富山ガラス造形研究所 造形科2年 コールドワーク展 透明を見る	7/16(土)～7/21(木)	6		富山ガラス造形 研究所	1,734
10	富山市所蔵作品展	7/27(水)～8/16(火) ※8/3(水)は休場日	20		富山市企画管理 部文化国際課	7,836
11	第11回 グループゆう展	8/21(日)～8/25(木)	5		ゆう展実行委員 会	952
12	悠画会展 夏の会 日本画作品展	8/21(日)～8/25(木)		5	悠画会	843
13	20周年記念 彩華の陶 いろいろ展	9/1(木)～9/5(月)	5		彩の夢工房 渡辺 彩華	1,004
14	書道教室Sunroom展 2022 解	9/9(金)～9/11(日)	3	3	書道教室 Sunroom	783
15	第五回 竹翠会書作展	9/17(土)～9/19(月・祝)	3		竹翠会	690
16	華麗なる作家たちの共演 アーティフィシャルフラワー展示会	9/23(金・祝)～9/25(日)	3		エコール・ドゥ・フ ルールマサコ	1,216
17	JAGDA富山ポスターデザイン展 GREEN 2022 vol.27	10/1(土)～10/6(木) ※10/5(水)は休場日	5		JAGDA富山	920
18	OekakiKids Exhibition 2022	10/15(土)～10/16(日)		2	おえかきキッズ	300
19	ムーミンの食卓とコンヴィヴィアル展ー食べるこ と、共に生きることー ※1	11/3(木・祝)～1/29(日)	79	79	富山市ガラス美 術館	24,628
20	富山ガラス造形研究所卒業制作展2023	2/11(土・祝)～2/19(日)	9	9	富山ガラス 造形研究所	3,692
21	第9回森の四季彩フォト大賞 入賞・入選作品展	2/25(土)～3/2(木) ※3/1(水)は休場日	5		富山市農林水産 部 森林政策課	965
22	2022年度富山大原デザイン学科 進級作品展	3/4(土)～3/6(月)	3		富山大原簿記公 務員医療専門学 校	361
23	富山工芸協会作品展	3/9(木)～3/13(月)	5		富山工芸協会	1,361
24	Toyama Glassの作家たち いぬねこの器展	3/18(土)～3/26(日)	9		一般財団法人富 山市ガラス工芸 センター	4,875
合 計			189	131		59,459

※1 企画展「フィンランド・ガラスアート：輝きと彩りのモダンデザイン」と同時開催したもの。

令和4年度公益施設内関連イベント実施状況について

1 美術館関連イベント（併設する図書館主催のイベントは除く）

- (1) TOYAMAキラリ内公益施設来館500万人達成
令和4年8月19日（金）、TOYAMAキラリ内の公益施設部分入館者数が500万人に達し、図書館長とガラス美術館長から500万人目の方に認定証と記念品を贈呈した。



TOYAMAキラリ内公益施設来館500万人達成

- (2) TOYAMA キラリ 防火・防災訓練の実施

TOYAMA キラリ内に勤務する職員（美術館、図書館、富山第一銀行、カフェ、ミュージアムショップ、施設管理委託業者）で、自主防火・防災訓練（被害状況の通報、消火、避難訓練など）を実施した。

日時：令和4年9月7日（水）16時～16時30分

会場：TOYAMA キラリ



TOYAMA キラリ防火・防災訓練の様子

- (3) 年始 TOYAMA キラリ特別開館

年末年始の帰省者や初詣、初売り等、中心市街地への来街者の来館を見込み、TOYAMA キラリ（美術館・図書館）の年始特別開館を行った。

開館日：令和5年1月2日（月）、3日（火）

開館時間：9時30分～17時

期間中来場者数：3,760人（美術館1,110人）

2 その他のイベント（富山市 他課担当事業）

- (1) 「令和4年度富山市公募提案型協働事業」事業説明会
（前年度事業報告会併催）

まちづくりのアイデアを提案し、提案者と市が協働で地域の課題解決に取り組む富山市公募提案型協働事業説明会及び報告会を行った。

日時：令和4年4月10日（日）14時～

会場：TOYAMA キラリ 2F ロビー

主催：富山市（男女参画・市民協働課）



令和4年度富山市公募提案型協働事業説明会

(2) 市民ミニコンサート (文化国際課)

富山市役所2階市民ホールで開催していた「市民ミニコンサート」をTOYAMAキラリ2階ロビーでも実施。

開催日：令和4年4月15日(金)、5月6日(金)、
7月29日(金)、8月5日(金)、8月19日(金)、
3月17日(金) 計6回開催

会場：TOYAMA キラリ2F ロビー

主催：富山市 (文化国際課)



市民ミニコンサート

(3) 第9回とやま森の四季彩フォト大賞表彰式 (森林政策課)

森林や里山を健全な姿で次の世代に引き継ぐことの大切さ、緑豊かで美しい環境を有する本市の魅力を、写真を通して広く内外に発信する「第9回とやま森の四季彩フォト大賞」の表彰式を開催。

日時：令和5年2月25日(土) 10時～

会場：TOYAMA キラリ2F ロビー

主催：富山市 (森林政策課)



第9回とやま森の四季彩フォト大賞表彰式

(4) 富山ガラス造形研究所卒業制作展講評会 (富山ガラス造形研究所)

富山ガラス造形研究所卒業制作展に係る講評会を実施した。

日時：令和5年2月10日(金)

13時30分～15時15分

会場：TOYAMA キラリ2F ロビー

主催：富山市 (富山ガラス造形研究所)

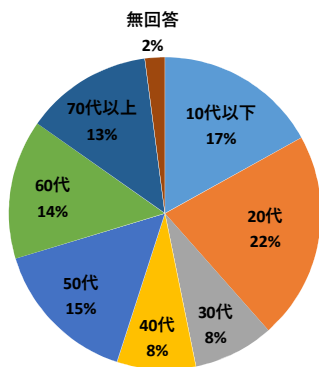


富山ガラス造形研究所卒業制作展講評会

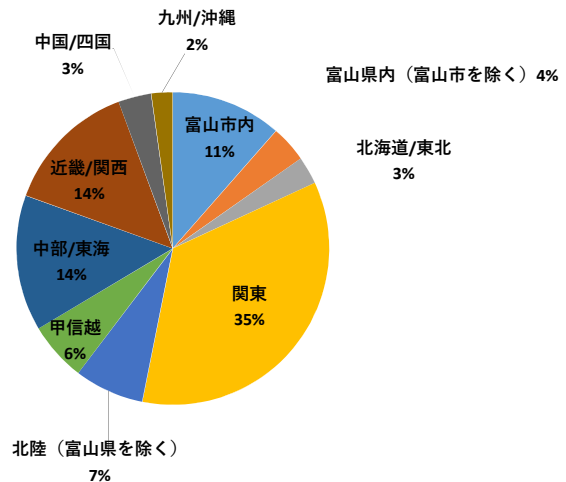
「富山市ガラス美術館」来館者アンケート概要

- (1) アンケート実施期間：2022年4月1日（金）～2023年3月31日（金）
- (2) 実施要領：各階受付に用紙・回収箱を設置
- (3) 期間中来館者数：175, 170人
- (4) 回答数：日本語版 1, 115件
 国名・感想のみを記入の英語版は62件 合計1, 177件

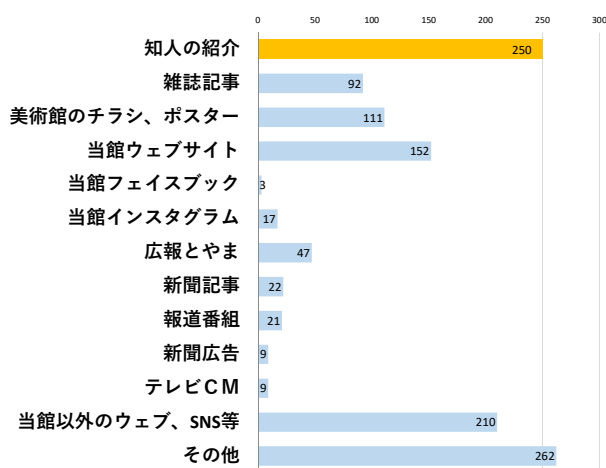
1. 年齢



2. 居住地域



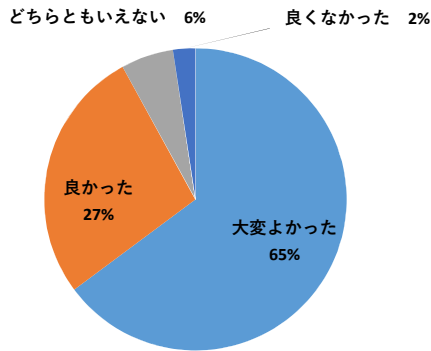
3. 来館のきっかけ



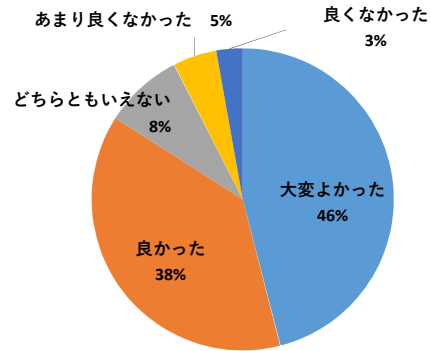
「その他」の内訳

子どもの誘い、観光案内所の紹介、大学受験のついで、旅行のついで、歩いていた時に発見、富山駅のポスターを見て、建築が見たいと思ったから、図書館のついで、たまたま招待券をもらったから、学校の先生からの紹介、インスタグラマーが訪れていたから、知人を案内するため、企画展を毎回鑑賞しているから、近くのホテルに泊まったから、修学旅行、校外学習、バスツアーの立ち寄りで、学校招待プログラムがきっかけで、隈研吾さんのファン、ガラスに興味があったから、観光地の検索をしていた際にたまたま見つけたから、ガラス工房と間違えて来館、知り合いの家が近くにあるから、子どもの宿題のため（キラリの外観スケッチ）

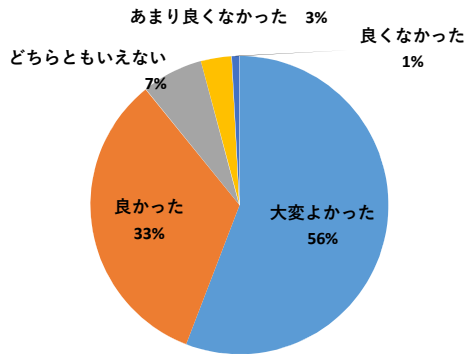
4. カースティ・レイ展



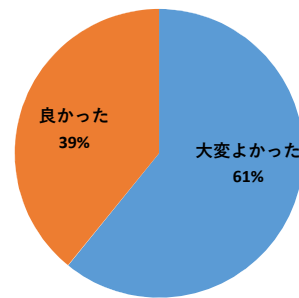
5. コーニング展



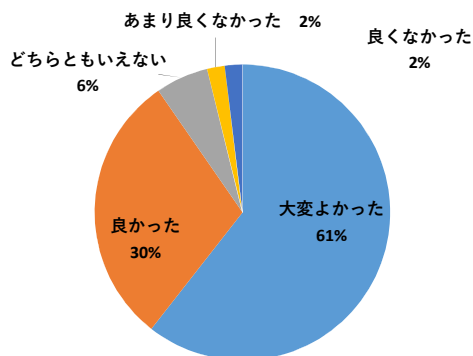
6. フィンランド展



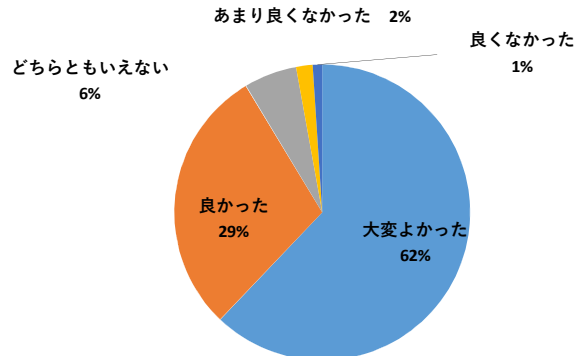
7. ガラスの街とやま連携展



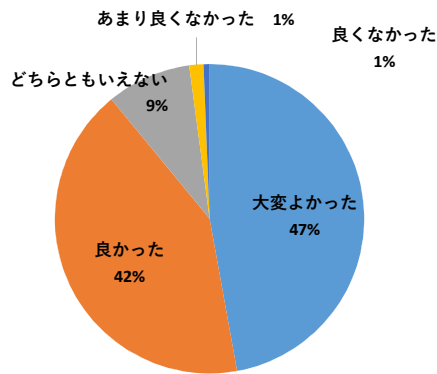
8. アナザーワールド展



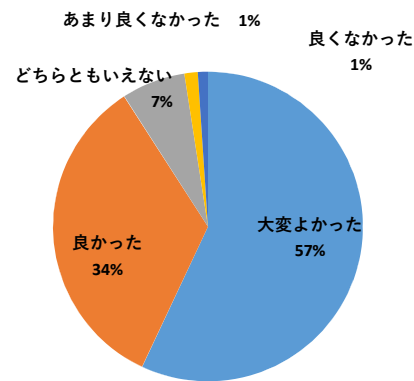
9. グラス・アート・ガーデン



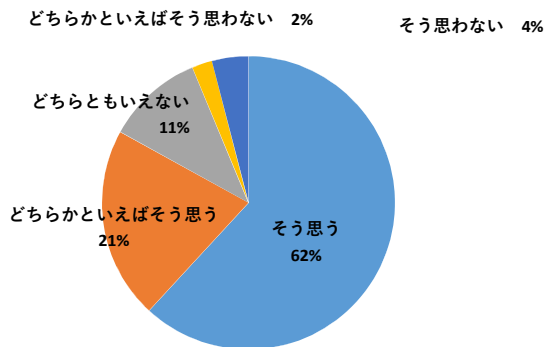
10.コレクション展2022-I



11.コレクション展2022-II



12. 本美術館にまた来館したい (他の人にすすめたい) と思うか



13. 主な美術館への要望

来場者への対応が良くない	17件
入場料を安くしてほしい	3件
ベンチを増やしてほしい	2件
監視員が多い	44件
館内の案内をわかりやすくしてほしい	2件
作品、展示室が少ない	2件
作品解説を増やしてほしい	1件
キャプションの文字を大きくしてほしい	15件
温度調整してほしい	4件
カフェのメニューを増やしてほしい	2件
ショップの商品を増やしてほしい	1件
体験コーナーがほしい	2件
駐車場がほしい	7件
SNS掲載できる場所を増やしてほしい	2件
宣伝を強化すべき	2件

【参考】英語版アンケート回答者の居住地

アメリカ	11	タイ	4	ブラジル	1
イギリス	3	中国	2	フランス	2
インド	1	ドイツ	1	香港	2
オーストラリア	2	日本（在住）	11	ニュージーランド	1
カナダ	2	ベルギー	1	イタリア	1
韓国	1	南アフリカ共和国	1	不明	2
シンガポール	5	フィリピン	1		

「富山市ガラス美術館」来館者アンケートについて

この度は富山市ガラス美術館のご利用ありがとうございます。
大変お手数ですが、今後の運営の参考とさせていただくため、
アンケートへのご協力をお願いします。

Q1. アンケートのご回答者様についてご記入ください。

(1) ご来館日 年 月 日

(2) 年齢 10代以下 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

(3) お住まい地域（差支えなければ都道府県名もお書きください）

富山市 富山県内※富山市を除く（市、町、村） 北海道/東北

関東 北陸※富山県を除く 甲信越 中部/東海 近畿/関西

中国/四国 九州/沖縄 国外 （お住まいの都道府県名※国外の場合は国名：）

Q2. 富山市ガラス美術館にお越しになったきっかけは何ですか。（複数回答可、該当する番号にチェックをつけた上で、差支えなければ具体的に媒体名をお書きください。）

新聞記事（新聞） 新聞広告（新聞）

テレビの報道（番組名：） テレビのCM（テレビ局名：）

広報とやま（富山市発行の広報誌） 知人からの紹介

美術館のチラシ、ポスター（施設名：） 雑誌記事（雑誌名：）

本美術館の	<input type="checkbox"/> ウェブサイト	本美術館	<input type="checkbox"/> ウェブサイト（サイト名：）
	<input type="checkbox"/> Instagram	以外の	<input type="checkbox"/> Instagram <input type="checkbox"/> Twitter
	<input type="checkbox"/> Facebook		<input type="checkbox"/> Facebook

その他（）

Q3. 本日を含めて、これまでに何回この美術館を利用されましたか。

初めてのご来館 2回 3～4回 5回以上

Q4. 本美術館にまた来館したい（誰かにこの美術館を勧めたい）と思いますか。またその理由を自由にご記入ください。

そう思う どちらかといえばそう思う どちらともいえない

どちらかといえばそうは思わない そう思わない

記入欄

Q5. 本日はどのような交通手段でご来館されましたか。（複数回答可）

徒歩 自家用車 観光バス 市内電車（路面電車） タクシー 路線バス

自転車 電車（在来線） 新幹線・特急 その他（）

アンケートは裏面に続きます

Q6. 観覧料についてどう思いますか。

高い やや高い 普通 やや安い 安い

Q7. 各階受付や展示室スタッフの対応についてどう思いますか？またスタッフの対応について、ご意見、感想等がありましたら、自由にご記入ください。

大変良かった 良かった どちらともいえない あまり良くなかった 良くなかった
「」階（受付・監視）※差し支えない範囲で該当する階をご記入ください。

記入欄

Q8. (1)～(2)の展覧会の内容はいかがでしたか。該当箇所にチェックしてください。

また、ご意見、感想等がありましたら自由にご記入ください。

(1) 企画展（ご覧いただいた展覧会をチェックしてください。）

「コーニング・ガラス美術館共同企画 New Glass Now」(2・3階)
(2022/7/16～2022/10/16)

「フィンランド・ガラスアート 輝きと彩りのモダンデザイン」(2・3階)
(2022/11/3～2023/1/29)

大変良かった 良かった どちらともいえない あまり良くなかった 良くなかった

記入欄

(2) 常設展（ご覧いただいた展覧会をチェックしてください。）

「コレクション展」(4階)

大変良かった 良かった どちらともいえない あまり良くなかった 良くなかった

記入欄

「ガラス・アート・ガーデン」(6階)

大変良かった 良かった どちらともいえない あまり良くなかった 良くなかった

記入欄

Q9. ガラス美術館について、ご意見、感想等がありましたら自由にご記入ください。

記入欄

その他 カフェ、ショップ、TOYAMA キラリ建物全体のことなど、ご意見、感想等がありましたら自由にご記入ください。

記入欄

ご協力ありがとうございました。

2階カフェの公募について

1 不室屋カフェの撤退について

令和4年7月に、カフェ運営事業者であった(株)加賀不室屋から正式に撤退の申し入れがあり、令和5年3月末での閉店となった。

新型コロナウイルス感染症拡大以降、当館においても来館者数が落ち込み、カフェの運営については事業者から継続的に相談を受けていた。

TOYAMAキラリ開館以降、来館者の憩いの場として重要な役割を果たしてきており、本市としても継続に向けて支援策を講じていたが、事業継続の見通しが立たないとの判断から、閉店に至った。

2 プロポーザルの実施について

(株)加賀不室屋からの撤退の申し入れを受け、令和4年12月から令和5年1月にかけて、次の運営事業者の公募を行った。その結果、富山市内で飲食店を運営している山澤房子氏が、新たな運営事業者に決定した。

3 新たなカフェのオープンについて

令和5年4月1日付で山澤房子氏と市有財産賃貸借契約を取り交わし、6月1日(木)に「Café 小馬キラリ店」がオープンした。

富山市民に馴染みがある飲食店の新店舗として、オープン時には地元紙やテレビ局の取材を受けるなど、注目を集めている。

令和 5 年度

富山市ガラス美術館
事業計画等

令和 5 年度 富山市ガラス美術館事業一覧について

No.	事業名	当初予算額	主な事業の概要
1	管理運営事務費	375,838 千円	ガラス美術館の維持管理等を行う。 【内容】 ・職員人件費 105,513 千円 ・光熱水費 54,680 千円 ・委託料（受付・監視等業務委託 他） 150,674 千円 ・負担金（管理協議会ビル管理委託 他） 33,129 千円 ・その他経費 31,842 千円
2	作品収集保存事業費	16,721 千円	美術館が掲げる作品収集方針を基に、作品及び関連資料の収集を行う。また収集した作品を後世に伝えるための、調査研究と保存を行う。 【内訳】 ・備品購入費（新規収蔵作品購入費） 10,000 千円 ・委託料（美術品保管庫燻蒸業務 他） 6,148 千円 ・その他経費 573 千円
3	調査研究事業費	3,797 千円	全国の美術館等と連携を図り、研修参加や情報収集に努めるとともに、ガラス美術を中心とした専門書籍の収集など、学芸の調査研究活動を行う。 【内訳】 ・旅費（全国美術館会議、国際会議 他） 3,131 千円 ・負担金（全国美術館会議 他） 369 千円 ・その他経費 297 千円
4	展覧会開催事業費	143,000 千円	ガラス美術作品の企画展示・常設展示を行う。 【内訳】 ・令和 4 年度企画展「アナザーワールド展」撤去等経費 6,424 千円 ・「日本近現代ガラス展」 34,026 千円 ・「宮永愛子展」 34,045 千円 ・ヴェネチアと日本展」 38,836 千円 ・「ガラスの街とやま連携展（仮）」 3,000 千円 ・常設展、グラス・アート・パサージュ 6,819 千円 ・次年度展覧会準備など 19,850 千円 (参考)年間有料観覧者数見込：115,160 人 観覧料見込：75,146 千円
5	富山ガラス大賞展開催事業費	13,000 千円	「ガラスの街とやま」の更なる定着を図り、その魅力を国内外に発信していくため、現代ガラス作品を中心とした国際公募展「富山ガラス大賞展 2024」を開催する。令和 5 年度は次年度の開催に向けて実行委員会を設立し、作品募集及び作品審査（1 次）等を行う。 【内訳】 ・委託費（審査員関係費、広告宣伝費等） 13,000 千円
6	教育普及事業費	4,354 千円	富山広域連携中枢都市圏域の小学 4 年生をガラス美術館、図書館本館へ招待する。美術館では豊かな感性を育むことを目的とした学校招待プログラムを行う。また、一般参加型プログラムとして、ワークショップ等を行う。 【内訳】 ・委託料（学校招待プログラム活動スタッフ委託費 他） 4,136 千円 ・その他経費 218 千円
7	広報活動事業費	15,463 千円	ガラス美術館を広く多くの人に周知するため、展覧会等に関する広報活動を行う。 【内訳】 ・印刷製本費（館内案内パンフレット 他） 1,896 千円 ・広告料（るるぶ、まっぷる 他） 3,600 千円 ・委託料（新聞、テレビ等広告制作費、掲載費 他） 9,494 千円 ・その他経費 473 千円
8	ガラス美術品等取得基金費	3 千円	ガラス美術品等の取得に要する費用に充当するために設置した基金（令和 4 年度末時点 4,935,937 円）について、運用益等の積み立てを行う。 【内訳】 ・基金運用益積立金 3 千円
予算額合計		572,176 千円	

1 アナザーワールド:不思議でリアルな世界

展示室1-3
[2・3F]

2023年3月4日[土] ▶ 6月18日[日]

本展覧会は、まさに現在(いま)を生きる7名の作家によるガラス作品を、「アナザーワールド」としてご紹介するものです。ガラスという二面性を持つ素材ならではの表情を見せる作品、約70件が展示されます。現実と地続きにある「不思議でリアルな世界」との出会いを、どうぞお楽しみください。



木下結衣(蘇生) ①2021年 作家蔵 撮影:林間啓

2 日本近現代ガラスの源流

展示室1-3
[2・3F]

2023年7月8日[土] ▶ 10月9日[月・祝]

国内では大正期から昭和初期にかけて、本格的に自己表現としてのガラス制作に取り組む作家が現れ始めます。戦後にはガラス会社所属するデザイナーが数多く活躍する一方、独立した立場で制作を行う動きも次第に見られるようになっていきました。本展では日本の近現代ガラス表現の初期から発展期の流れを改めて追いつながりながら、未踏の領域を切り開き、ガラス制作に情熱を燃やしてきた作家達による創造性豊かな作品の数々をご紹介します。



岩田藤七(花器)1960年 新館歴史博物館所蔵

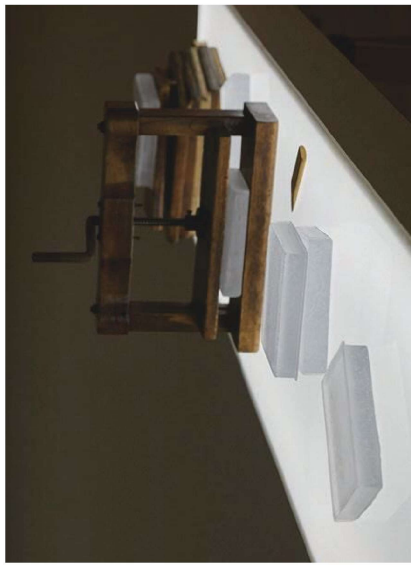
3 宮永愛子展

展示室1-3
[2・3F]

2023年11月3日[金・祝] ▶ 2024年1月28日[日]

「変わりながらあり続ける」をテーマとして、ナフタリン、樹脂、ガラスの彫刻や塩、葉脈を用いたインスタレーション作品で注目を集める美術家、宮永愛子。何気ない日常の出来事を宮永は丁寧に気づきとして掬い上げ、息を呑むような美しい作品へと昇華させます。

本展を機会に、ガラスとじっくり向き合う時間を得た宮永は、人々を魅了するこの素材を「富山」でくまなくもといいた新作を発表します。作品に通底するじんわりとした温かさが染み渡り、皆様の心の霞が少しでも晴れわたることを願います。



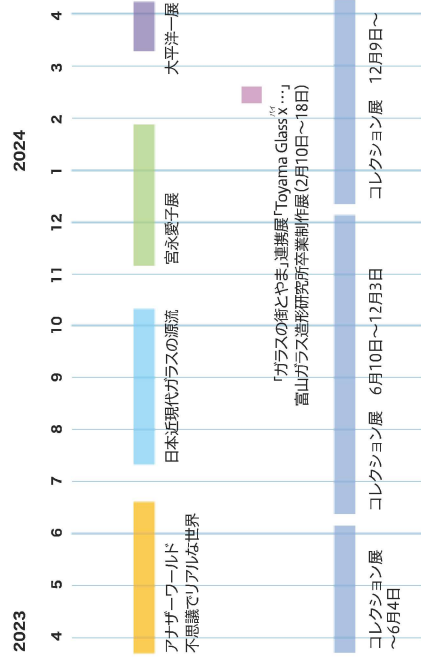
宮永愛子(Strata)2018-19年 撮影:本俣聖三
©MIYANAGA Aiko Courtesy of Mizuma Art Gallery

4 大太平洋一展

展示室1-3
[2・3F]

2024年3月9日[土] ▶ 6月23日[日]

ガラス製造で栄華を極めた地、ヴェネツィア。1973年に渡欧した大平はかの地に活動拠点を構え、以後38年間に渡りヴェネチアン・ガラスの歴史を研究しつつ、その高度な技術をもつガラス職人達と共に作品を発表してきました。没後初の回顧展となる本展では、国内外の所蔵作品を始め、創作の源泉であるドロ・イニングなど関連資料をあわせて展示します。日本とヴェネツィアの文化をつなぐ架け橋となるべく、新たなガラス表現の創造に半生を捧げた大平の活動を、デザイナーと研究者という2つの側面からご紹介します。



※記載内容は変更する場合があります。

參考資料

ミュージアムショップ（2階）のオリジナル商品について

参考資料1

株式会社オークコーポレーション

2023/4/9

	商品名	J A N	税込価格	税抜 本体価格	サイズ	仕様	画像
1	クリアファイル TOYAMAキラ	4532977717392	¥300	¥273	310×220mm	素材：P P 印刷：オフセット印刷 梱包：O P P袋入り、裏面 1 c シール貼り	
2	クリアファイル ストライプ	4532977717354	¥300	¥273	310×220mm	素材：P P 印刷：オフセット印刷 梱包：O P P袋入り、裏面 1 c シール貼り	
3	クリアファイル 隈研吾	4532977717361	¥360	¥328	310×220mm	素材：P P 印刷：オフセット印刷 梱包：O P P袋入り、裏面 1 c シール貼り	
4	リングメモ コシノヒスイ	4532977717323	¥100	¥91	A7 105×74mm	表紙材質：P P（透明） リングの色：白 枚数：60枚 梱包：O P P袋入り、裏面 1 c シール貼り	
5	リングメモ コシノアオ	4532977717507	¥100	¥91	A7 105×74mm	表紙材質：P P（透明） リングの色：白 枚数：60枚 梱包：O P P袋入り、裏面 1 c シール貼り	
6	てぬぐい kirakira	4532977717477	¥1,600	¥1,455	900×340mm	素材：綿 100% 印刷：注染 梱包：紙帯巻き	

	商品名	J A N	税込価格	税抜 本体価格	サイズ	仕様	画像
7	てぬぐい maru	4532977717460	¥1,600	¥1,455	900×340mm	素材：綿 100% 印刷：注染 梱包：紙帯巻き	
8	マスキングテープ コシノヒスイ	4532977930166	¥300	¥1,455	幅15mm×8mm	4c プリント PP包装、単色シール貼り	
9	マスキングテープ コシノアオ	4532977930173	¥300	¥273	幅15mm×8mm	4c プリント PP包装、単色シール貼り	
10	ポストカード 田嶋 悦子	4532977930241	¥140	¥128	H148×W100mm	4c +1c プリント PPコーティング	
11	ポストカード 室 伸一	4532977717521	¥140	¥128	H148×W100mm	4c +1c プリント PPコーティング	
12	ポストカード 小田橋 昌代	4532977717293	¥140	¥128	H148×W100mm	4c +1c プリント PPコーティング	

	商品名	J A N	税込価格	税抜 本体価格	サイズ	仕様	画像
13	ポストカード ハワード・ベン・トレ	4532977933143	¥140	¥128	H148×W100mm	4c+1cプリント PPコーティング	
14	ポストカード 藤田 喬平	4532977933150	¥140	¥128	H148×W100mm	4c+1cプリント PPコーティング	
15	ポストカード ベンジャミン・イードルス & キャシー・エリオット	4532977934683	¥140	¥128	H148×W100mm	4c+1cプリント PPコーティング	
16	ポストカード TOYAMAキラリ	4532977721337	¥140	¥128	H148×W100mm	4c+1cプリント マットコート	

Café 小馬（2階）メニューについて

[甘味]

<p>お抹茶と生菓子セット ¥1,200</p>	
<p>アイスクリーム ¥400</p>	
<p>ケーキ 各 ¥500</p>	
<p>ケーキ&プチデザート ¥700</p>	

[ドリンク]

コーヒー [ホット/アイス]	・・・ ¥600
紅茶[ホット/アイス]	・・・ ¥600
ウイナーコーヒー[ホット/アイス]	・・・ ¥750
富山ブラックサイダー	・・・ ¥600
ジンジャーエール	・・・ ¥600
炭酸水	・・・ ¥600
オレンジジュース	・・・ ¥600
烏龍茶	・・・ ¥600
カフェオレ[アイス]	・・・ ¥700
コーヒーフロート	・・・ ¥650
ソーダフロート	・・・ ¥700

[アルコール]

ビール [小瓶]	・・・ ¥700
富山地ビール [缶]	・・・ ¥800
満寿泉 [グラス]	・・・ ¥600
ノンアルコールビール [瓶]	・・・ ¥600
ノンアルコールスパークリング [ハーフボトル]	・・・ ¥1,200